

写真コンテスト



ふくしまの希望を「カシャ」と撮ろう!



「ふくしま むらの輝き 2024」 写真コンテスト 応募要領



- テーマ** ●福島県内の農村における地域ぐるみの活動
・地域ぐるみで行う草刈り、ゴミ拾い、花植えなどの様子など
●福島県内の農業用水路、ため池や棚田のある農村風景
・農業用水路や農業用ため池、地域遺産・資源として価値のある棚田の近くで作業する人物や付近に生息する生き物など
※福島県内在住者を対象とします。
- 賞** ●最優秀賞 1点 (賞状、賞金50,000円 テーマ共通)
●優秀賞 4点 (賞状、賞金20,000円 テーマ毎に2点)
●入選 6点 (賞状、賞金 5,000円 テーマ毎に3点)

応募締切 令和6年11月29日(金)

当日消印有効

福島多面的推進協議会

検索

携帯・スマホは
こちらから▶



作品応募規格等、詳細はホームページの応募要領、応募用紙をご覧ください。

人が輝き、村が輝く。



テーマ共通 2023コンテスト 最優秀賞

「棚田を守る人々」笠原壽一さん



農村風景の部 2023コンテスト 優秀賞

「黄昏る早苗田」鈴木彦三さん



地域ぐるみ活動の部 2023コンテスト 優秀賞

「出店のおばさん達」中村邦夫さん



農村風景の部 2023コンテスト 優秀賞

「みんな友達」矢作武一さん



地域ぐるみ活動の部 2023コンテスト 優秀賞

「桜を守る」佐藤 弘さん

多面的機能支払交付金事業制度が始まっています

農村には、四季折々の自然、農業の営み、そこで暮らしが織りなす独特の文化・歴史・景観など都会では見られなくなってしまったものがたくさんあります。例えば、あぜ道の草花や鳥のさえずり、小川のせせらぎや木々の緑等農村には身近なところに豊かな自然があります。また、田植え・稲刈り、野菜や果物の収穫作業、田畑を耕すトラクター等農業の営み、更には、地域遺産・資源として価値のある棚田は農村の風景をつくっています。私たちは、この風景をいつまでも大切にしたいと考えています。

しかし、農業者の高齢化等により農家が減り続け、この風景を維持していくことが困難になってきています。このため平成19年度より農地・水・環境保全向上対策(平成26年度から多面的機能支払交付金)が始まっています。

この対策は、農家の方々のみならず、非農家の方々にも参加していただき、地域の貴重な資源である農地・農業用施設の維持・保全活動に加え農道に花を植える等農村景観の維持に努めています。特に集落廻りを流れる農業水路は、消防などの防災面や環境面で大切なものとの認識が深まり住民総出の定期的な草刈りや江ざらいを行うことに繋がっています。現在、様々な活動組織が知恵と工夫を重ね、この大切な農村風景を守っています。

このコンテストを通して多くの皆様は本対策を知っていただき、農業・農村に対する理解がますます深まっていくことを目的に写真コンテストを実施いたします。